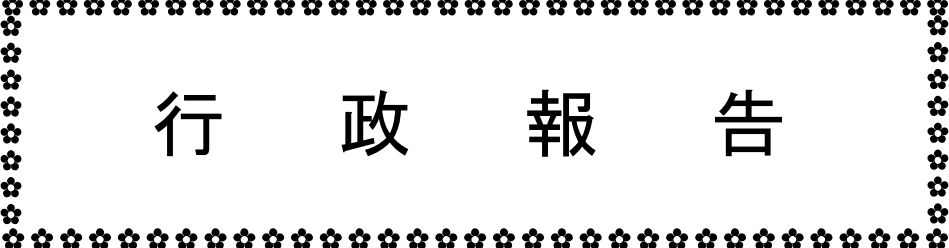


令和 3 年第 1 回 定例市議会



行政報告

北海道恵庭市

第1回定例会が開催されるに当たりまして、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。
本市における感染者の発生状況についてであります。昨年12月2日に市内の高等学校において初めてのクラスター（集団感染）が確認されるとともに、1月中旬以降は断続的に感染者が発生し、2月8日現在の感染者は148名となっております。

本市におきましては、これまで様々な感染症防止策や経済対策などを進めているところでありますが、その後も全国的に感染拡大の歯止めがかからず、1月7日には特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

市としましては、早急かつ適切な対策が求められる中、市独自の追加経済対策を実施するなど、継続的かつ積極的に新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできたところであります。

この間、市民の皆様には長期間にわたってのご協力に感謝するとともに、逼迫する医療現場において治療や感染予防にご尽力されております医療従事者の皆様に心より深謝する次第です。

続いて、これまでの主な取組について個別に申し上げます。

【恵庭PCR検査センター開設】

はじめに、恵庭PCR検査センターの開設についてであります。新型コロナウイルス感染症対策として、恵庭市医師会の協力のもと、北海道の委託を受けて、昨年12月17日に恵庭PCR検査センターを開設し、週3回、ドライブスルー方式による唾液採取検査を実施しております。1月末までに17回、241件の検査を実施しております。

【新型コロナウイルス

次に、新型コロナウイルスワクチン接種体制についてであります、

ルスワクチン接種
体制】

本年1月20日付けで保健福祉部に新型コロナウイルスワクチン対策室を新たに設置し、実施計画の策定や市内医療機関との調整等を順次執り進めております。

現在、国が示す接種スケジュールやワクチン受入数など未確定な部分もありますが、適宜、情報収集に努め、多くの市民が安心して接種できるよう接種体制の構築と市民への周知を進めて参ります。

引き続き、国や北海道からの情報を注視しながら市内医療機関等と連携を図り、円滑に新型コロナウイルスワクチンを接種できるよう努めて参ります。

【新生児臨時給付
金】

次に、新生児臨時給付金についてであります、
国の特別定額給付金の基準日の翌日である昨年4月28日以降に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、出生した新生児とその家庭に対し、新生児1人につき10万円を給付しております。

給付対象は、本年4月1日までに出生した新生児で、1月末までに262件の給付を行っております。

【ひとり親世帯臨
時特別給付金の再
支給】

次に、ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給についてであります、
新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯の生活実態が、依然として厳しい状況であることから、年末年始に向けてさらに生活が厳しくなることが予想されることを踏まえ、対象世帯659世帯に対し、1世帯当たり5万円、第2子以降一人につき3万円を12月25日に支給いたしました。

【新型コロナウイ
ルス感染症に係る
経済対策】

次に、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策についてであります
が、

「えにお商品券 えにわんチケット」事業については、1月15日に

郵便局での引換期間が終了し、対象者7万608名に対し、6万7,020名の引換が終了したところであります。

テイクアウト・デリバリーガイド事業については、販売拡大の支援を目的に市内飲食店48店舗のクーポン付きチラシを作成し、各家庭へ配布しております。クーポンの利用については、493件の利用があり、一定の効果があつたと考えております。

また、新しい生活様式に対応した、テイクアウト代行サービスの「リッターアツイーツ」への支援では、464件の実績があり、うち148件がタクシー事業者による配送として実施いたしました。

以上、本市における新型コロナウイルス感染症対策の主なものとなりますが、日本国内における新規感染者数は1月中旬以降減少傾向が見られるものの、重症者数、死亡者数は引続き高い水準にあり、北海道による集中対策期間や特別措置法に基づく緊急事態宣言が延長されており、依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況を踏まえ、市としましては、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、地域経済や市民生活への影響を見極めつつ、市民の皆様の協力をいただきながら、今後も関係機関と連携し、引続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組んで参ります。

ふるさと納税の推進について

次に、令和2年度のふるさと納税事業の推進について申し上げます。

寄附金額につきましては、1月末時点の速報値では、10億5千万円と、前年と比べて1.5倍程度伸びたところであります。

また、活用しているポータルサイトについて、令和2年8月より随時追加し、合計で8社へと拡大したところであり、今後は、更に2社の追加に向け準備を進めております。

返礼品につきましても、本年度は8社の新規事業者登録を行い、拡充

に努めたところであり、引続き、新規事業者の開拓と返礼品の追加を推進し、恵庭の魅力を積極的に発信することにより、更なる寄附金額の確保に努めて参ります。

東京オリンピック・パラリンピック
ホストタウンについて

次に、東京オリンピック・パラリンピックホストタウンについて申し上げます。

令和2年11月13日に、グアテマラオリンピック委員会と恵庭市において「東京2020大会における事前合宿・事後文化スポーツ交流の実施にかかる基本合意書」を締結し、12月2日正式にホストタウン登録がなされたところであります。

また、1月15日から恵庭市民向けにグアテマラの文化等を紹介する、グアテマラセミナーのオンライン配信を開始しております。

なお、グアテマラの関係者に対しましては、恵庭市の魅力を伝える動画を1月に送付して、ご覧いただいているところあり、現在は、選手団の行動予定や食事など、具体的な要望について伺っているところあります。

今後につきましては、それらの情報を基に、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたマニュアルを作成し、計画している事業の推進に向け調整してまいります。

恵庭子ども未来議会の未来提言書について

次に、恵庭子ども未来議会の未来提言書について申し上げます。

恵庭市議会による50周年記念事業の一つとして、令和2年12月17日に開催されました恵庭子ども未来議会において、市内5中学校から、「未来提言書」を受け取りました。

これからの時代を担う子ども達から提出していただいた「未来提言書」につきましては、各所管において対応を検討のうえ、第5期恵庭市総合計画後期基本計画にできる限り反映し、子ども未来議員の声を、将来の

恵庭のまちづくりに活かすこととしております。

また、前期基本計画に表記していた「未来日記」に代えて、後期基本計画では、「未来提言書」を掲載し、将来へのまちづくりにつなげて参りたいと考えております。

起業支援について

次に、起業支援について申し上げます。

起業を目指している市民が学ぶ「恵庭起業塾」については、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら定員を縮小し、20名の参加のもと5回開催いたしました。また、市に設置したワンストップ窓口への相談が39件、中小企業診断士による個別相談が28件、実際の起業に関連する起業支援事業補助金が13件、起業家育成資金融資が1件という状況から起業意欲も活発であったと考えております。

更に、起業後間もない方に対するフォローアップと起業を目指す方への啓発を兼ねたセミナーの開催や起業家紹介も引続き実施したところであります。

全国都市緑化北海道フェアについて

次に、全国都市緑化北海道フェアについて申し上げます。

市民にフェアの企画段階から参画していただき、主体性を持ってフェアに参加していただく機運を醸成することを目的としております「緑化フェアサポーターズクラブ」では、引続きワークショップを開催し、提案した様々な事業の実現に向けた検討をしていただいております。

また、恵庭南高校ボランティア部においてワークショップを開催し、緑化フェアを盛り上げる取組について検討していただきました。

基本計画の策定に関しましては、学識経験者や関係団体等による検討会議をこれまで4回にわたり開催し、シンボルマークについてもご承認いただくなど、基本計画案として取りまとめいただいたところです。

更に現在、造園、経済、建設、教育等、様々な分野の関係団体により

120名を超える実行委員会の設立を進めているところであり、令和4年6月の緑化フェア開催へ向け、準備を進めて参ります。

救急自動車の更新
整備について

次に、救急自動車の更新整備について申し上げます。

平成21年に整備した消防署島松出張所の高規格救急自動車は、救急需要の増加から使用頻度が高く、劣化が著しい状態であったことから感染症防止等の装備を強化した車両へ更新し、2月1日から運用いたしました。

今後におきましても消防救急体制の充実を図り、市民の安全・安心の確保に努めて参ります。

消防指令センター
サーバの更新整備
について

次に、消防指令センターサーバの更新整備について申し上げます。

平成26年度に整備した高機能消防指令システムの中核機器である消防指令センターサーバは耐用年数が経過し、故障時の対応が困難になったことから更新し、令和2年12月3日から運用いたしました。

今後におきましても消防体制の充実を図り、市民の安全・安心の確保に努めて参ります。

以上、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。

